## ABOUT NAGASAKI BRANCH
長崎支部について

みんな仲が良いと思います。県民性なのか、みんなのんびりしていますね。地元戦は雰囲気も良いし好きですよ。これからも雰囲気は今のままで、みんなと一緒に頑張れたら良いですね。後輩たちにはもっと稼いでもらいたいですし、自分も含めて今まで以上に頑張らないといけないと思っています。



## ABOUT MY PUPIL
弟子について



弟子は、岩永節也、真庭明志、桑原悠の3人です。選手として教えられる事はもちろん教えますが、まずは人として恥ずかしくないような礼儀、態度を大事に指導するようにしていました。自分がしっかりしていないと後輩に指導は出来ないですし、後輩から見て恥ずかしくない師匠でありたいですね。

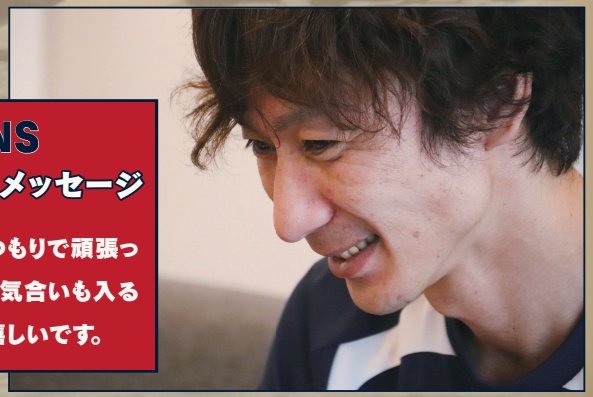
## FAVORITE STADIUM & COURSE・WINNING TECHNIQUE
好きな場・コース・決まり手

やっぱり地元の大村が好きです。ナイターが好きなので発祥地ナイターになってもっと好きになりました。苦手な場は特にないですよ。荒れ水面も得意な方だと思います。“もし転覆しても選手責任外だろう(笑)”という強い気持ちでレースしています。
好きなコースはインコース!大村なら特に好きですね。でも、決まり手は「まくり」で勝つのが一番好きです。



## THE STRONG AND WEAK POINTS
レースでの長所、短所

長所はあまりないですが、しいて言えば困った時に人に助けを求めるのが上手な所かな(笑)。調整で迷った時はよく整備士さんに相談しています。
短所は、すぐ“ツケマイ”に行きたがる所です(笑)。コース問わず行きたがります。失敗して飛んで行ってしまう事もよくありますが、決まった時はすごく気持ちが良いですね。自分はスタートから攻めていくタイプではないけど、その後の1マークで攻める気持ちは若手にも負けません!



## MESSEAGE FOR FANS
ファンへのメッセージ

**大村は地元なので、常に1着を獲るつもりで頑張っています。お客様の声援があるとより気合いも入るので、ぜひ本場で応援して頂けると嬉しいです。**

# I LOVE 長崎支部

vol.12

ボートレース大村
長崎支部所属レーサーを
徹底分析!

ボートレース大村
オリジナル情報誌

3843

# UENO AKIHIRO



## 多趣味なボートレーサー 上之晃弘

1976年7月9日生まれ
初出走は1996年5月29日。翌年1月に初1着をあげる。
デビューから通算3年5ヶ月目となる1999年10月に若松で初優勝。
78期の主な同期
平尾 崇典、佐々木 和伸、中谷 朋子など

# BOATRACE LIFE



## ボートレーサーを目指したきっかけ



父がボートレーサーだったので、自然と目指すようになっていました。高校2年生くらいから本格的に目指し始め、在学中に試験を受けました。1発合格でしたが、何となく受かった感じでしたね（笑）。自分で言うのもなんですが、運はすごく良い方だと思います。運だけでここまで来られている感じです（笑）。

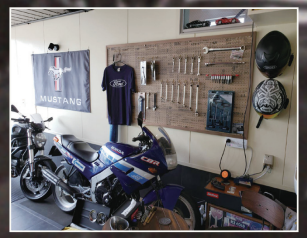
## 研修所での生活

父から研修所は厳しいと聞いていましたし、それなりの覚悟はあったのでそこまで厳しいとは思わなかったです。舟に乗る事も嫌いではなかったので乗艇訓練は好きでした。教官には怒られた事もあまりなかったですし、可愛がられていた方だと思います。

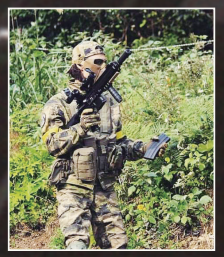
## 趣味

ボートレースもそうですがエンジンが付いているものが大好きです。今は車2台、バイク3台を所有しています。休日はツーリングやドライブをしたり、ネットで注文した車やバイクの部品を家のガレージで音楽を聴きながら組み立てたりしています。細かい作業が好きで、黙々と作業をしています。









車やバイク以外にも、釣りやダイビング、サバイバルゲームなど趣味は数えきれないほどたくさんあります。

## デビューしてみて

デビュー戦はとても緊張しました。1走目は5着でしたが、2走目、3走目は連に絡めたので「俺行けるんじゃね？」と調子に乗っていました（笑）。その後は5、6着が続いてしまって…。同期の山崎さんがデビュー節で1着を獲ったので焦っていたのでしょうね。その後はフライングを連続で切ってしまい、デビュー期でF2になりました。その時に改めて甘くないなと感じましたね。苦い思い出です。

初優勝はデビューから3年5ヶ月目の若松でした。優勝戦は3艇がフライングで、決まり手は「恵まれ」。本当はスッキリ優勝したかったけど…。まあ、俺らしいっちゃ俺らしいですよね（笑）。



## 同期について

引退してしまいましたが、同支部の山崎康弘さんと一番仲が良いです。今でも飲みに行ったり、泊りに行ったりしていますよ。その他では、三重支部の星野太郎君と仲が良いですね。星野君とは趣味も合うし、長崎までよく遊びに来てくれます。

## ボートレースの魅力

選手目線だと、自分の努力次第で結果が目に見えて分かる所だと思います。1着を獲れた時は自信になりますし、逆に結果が悪ければ努力が足りないのだと、すぐ分かりますよね。

お客様目線だと、迫力を感じられる所だと思います。僕自身もそうでしたが、エンジン音など直接聞くと興奮するので、レースはぜひ本場に来て水面際で見てもらいたいですね。



## ファッション

特にこだわりはないですよ。基本シンプルな感じが好きで、アクセサリーは時計を着けるくらいですね。その他では、靴が好きです。スニーカーやブーツは20足くらい持っていて、アメリカンな感じが好きです。



## 家族について

妻とは友人の紹介で知り合いました。ちょっと天然だけど一緒に居て落ち着く存在ですし、多趣味な僕の事をしっかり理解してくれています。子供は高校2年と中学2年の息子2人です。家族みんな仲がいいですよ。家族は頑張る源になるし、家に帰るとリラックスさせてくれます。家族を想うと、怪我はもちろんフライングも出来ないですね（笑）。



## 目指すレーサー像

父を目標としています。父は仕事に対してすごく真面目だったので、尊敬しています。

この職業は、努力しないと置いていかれる世界だと思っているので、日々精進することが大事ですね。例えば、モーターが良くない時は成績も悪いけど、その中でも何か得て帰るとか、出来る事はしていかないといけないと思っています。

## これまでとこれから

選手生活今年24年目ですが、早かったように感じます。そう感じられるのは仕事が好きだからでしょうね。毎日充実していました。レース場に入るのも苦ではないし、休み中もボートに乗りたいと思う事がよくあります。これからも今までと変わらず1走1走頑張るのみですね。無駄なレースなど無いと思っています。とりあえず60歳まで現役を目標に頑張りたいです。